



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年2月10日

上場取引所 名

上場会社名 コムシード株式会社

コード番号 3739 URL <http://www.commseed.net/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 羽成 正己

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部長 (氏名) 小倉 誠

TEL 03-5289-3114

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	844	△3.1	17	△68.2	14	△70.4	△50	—
27年3月期第3四半期	871	36.8	54	—	48	—	43	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	△9.87	—
27年3月期第3四半期	9.35	8.93

(注)28年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	757	548	72.1
27年3月期	748	392	52.4

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 546百万円 27年3月期 392百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,300	7.2	50	△49.9	45	△52.1	20	△81.7	3.88

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

1株当たり当期純利益の予想値は、平成28年3月期第3四半期における期中平均株式数を用いて算出しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	5,195,995 株	27年3月期	4,773,718 株
28年3月期3Q	— 株	27年3月期	— 株
28年3月期3Q	5,149,504 株	27年3月期3Q	4,680,630 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
3. 補足情報	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

平成28年3月期第3四半期累計期間におけるわが国経済は、個人消費が低迷し横ばいで推移するも、雇用者所得の回復を支えに先行きは緩やかな回復が見込まれております。

そのような中、当社は当第3四半期会計期間において、引き続き個人ユーザー向けのスマートフォンゲームアプリケーションの提供を中心に事業を展開しております。

当第3四半期累計期間の業績は、売上高、利益面ともに、第2四半期までのリリース遅延の影響から累計期間において前年同期を下回っているものの、当第3四半期会計期間において既存事業のソーシャルゲーム『グリパチ』が会員数280万人を突破するなど順調に推移したほか、遅延していたパチスロシミュレーターアプリをリリースしたことで、前年同期を上回る売上及び利益を計上いたしました。これにより、当第2四半期累計期間までの損失をカバーし、営業利益、経常利益を回復することができました。

しかしながら、当第2四半期累計期間において一部タイトルの開発中止や当初計画していた収益性との乖離が発生したことによる各資産グループについて固定資産の減損処理を実施し特別損失に減損損失を計上したこと、加えて繰延税金資産の一部を取崩したことによる影響から、四半期純損失を回復するにはいたりませんでした。

以上の結果、売上高は844,857千円(前年同期比3.1%減)、営業利益17,299千円(前年同期比68.2%減)、経常利益14,348千円(前年同期比70.4%減)、四半期純損失50,806千円(前年同期は四半期純利益43,786千円)となりました。

当社はモバイル事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりませんが、事業におけるサービス分野別の主な取り組みは、以下のとおりであります。

- ① ソーシャルゲームについては、バーチャルホール『グリパチ』が、12月に単月で過去最高売上を記録するなど好調に推移いたしました。定期的な新規アプリの投入やイベントの実施などが功を奏し、当第3四半期会計期間で、会員数が280万人を突破いたしました。また、「GREE」にて、タワーディフェンスゲーム「武装少女」を新規リリースしております。
- ② パチンコ・パチスロ系スマートフォンアプリについては、第2四半期で投入した有力アプリに加え、当第3四半期会計期間では「デビルサバイバー2 最後の7日間」Android版を配信開始するなど、当第3四半期会計期間にずれ込んだ分のアプリ販売が好調に推移しました。
- ③ スマートフォンネイティブアプリについては、パブリッシング事業において新タイトルの開発がスタートいたしました。また、新作アプリ「ロジッククラッシュ」については事前登録を開始し、平成28年1月のリリースに向けて各種マーケティング施策と最終的な品質調整を進行いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期会計期間末における資産は、前事業年度末から9,017千円増加し、757,386千円(前事業年度末比1.2%増)となりました。

これは、主に流動資産で現金及び預金31,182千円、受取手形及び売掛金3,746千円が減少したものの、その他36,095千円が増加したことと、固定資産で有形固定資産3,441千円が減少したものの、無形固定資産14,797千円が増加したことによるものです。

② 負債

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末から146,925千円減少し、209,050千円(前事業年度末比41.3%減)となりました。

これは、主に流動負債でその他44,077千円の減少と、固定負債で転換社債型新株予約権付社債100,000千円の減少によるものです。

③ 純資産

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末から155,942千円増加し、548,336千円(前事業年度末比39.7%増)となりました。

これは、主に第2回無担保転換社債型新株予約権付社債の権利行使、第三者割当による増資、第4回新株予約権の行使に伴う株式の発行により、資本金102,476千円、資本剰余金102,476千円が増加したものの、四半期純損失の計上に伴う利益剰余金50,806千円の減少によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成27年11月6日の「業績予想の修正並びに特別損失の発生及び繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	313,607	282,425
受取手形及び売掛金	239,951	236,204
商品及び製品	5,827	4,456
仕掛品	—	2,999
原材料及び貯蔵品	2,857	2,161
その他	29,346	65,441
貸倒引当金	△21	—
流動資産合計	591,569	593,688
固定資産		
有形固定資産	18,588	15,146
無形固定資産	91,927	106,725
投資その他の資産		
その他	46,284	41,826
投資その他の資産合計	46,284	41,826
固定資産合計	156,800	163,697
資産合計	748,369	757,386
負債の部		
流動負債		
買掛金	100,607	115,521
1年内返済予定の長期借入金	16,668	16,668
未払法人税等	8,969	2,320
その他	81,172	37,094
流動負債合計	207,417	171,604
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	100,000	—
長期借入金	16,664	5,552
退職給付引当金	10,269	10,269
役員退職慰労引当金	19,197	19,197
その他	2,427	2,427
固定負債合計	148,557	37,445
負債合計	355,975	209,050
純資産の部		
株主資本		
資本金	681,975	784,452
資本剰余金	113,084	215,561
利益剰余金	△402,906	△453,713
株主資本合計	392,153	546,300
新株予約権	240	2,035
純資産合計	392,393	548,336
負債純資産合計	748,369	757,386

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	871,853	844,857
売上原価	557,448	539,094
売上総利益	314,404	305,763
販売費及び一般管理費	259,956	288,463
営業利益	54,447	17,299
営業外収益		
受取利息	21	46
貸倒引当金戻入額	567	—
業務受託料	—	660
その他	0	23
営業外収益合計	588	730
営業外費用		
支払利息	603	338
支払手数料	531	904
株式交付費	—	2,438
社債発行費	5,482	—
営業外費用合計	6,617	3,681
経常利益	48,419	14,348
特別損失		
減損損失	—	60,320
特別損失合計	—	60,320
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	48,419	△45,972
法人税、住民税及び事業税	4,632	1,662
法人税等調整額	—	3,172
法人税等合計	4,632	4,834
四半期純利益又は四半期純損失(△)	43,786	△50,806

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

平成27年4月8日付で、株式会社サイカンが保有する第2回無担保転換社債型新株予約権付社債について権利行使がなされ、資本金が50,000千円、資本準備金が50,000千円増加し、平成27年6月11日に株式会社サイカンから第三者割当増資の払込みを受け、資本金が49,912千円、資本準備金が49,912千円増加しました。

また、当社は第4回新株予約権の行使に伴い、前事業年度末から当第3四半期会計期間末までに資本金が2,564千円、資本準備金が2,564千円増加しました。

この結果、当第3四半期累計期間において資本金が102,476千円、資本準備金が102,476千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が784,452千円、資本準備金が215,561千円となっております。

3. 補足情報

設備投資の計画

前事業年度末において計画中であった重要な設備の新設計画について、当第3四半期累計期間に著しい変更があったものは、次のとおりであります。

①重要な設備計画の変更

事業所名 (所在地)	事業部門 の名称	設備の内容	投資予定額		資金調達 方法	着工及び完了予定 年月		完成後の 増加能力
			総額 (千円)	既支払額 (千円)		着手	完了	
本社 (東京都 千代田区)	全社	ソフトウェア	17,000	13,596	自己資金	平成27年 9月	平成28年 1月	ソーシャルゲーム サービスの開始

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. 当第2四半期累計期間において新たに計画した重要な設備については、仕様の変更等により投資予定額を変更し、完了予定年月を延期しております。

②重要な設備の新設計画

当第3四半期累計期間において新たに確定した重要な設備の新設計画は次のとおりであります。

事業所名 (所在地)	事業部門 の名称	設備の内容	投資予定額		資金調達 方法	着工及び完了予定 年月		完成後の 増加能力
			総額 (千円)	既支払額 (千円)		着手	完了	
本社 (東京都 千代田区)	全社	ソフトウェア	未定	18,182	自己資金	平成27年 11月	平成28年 2月	ソーシャルゲーム サービスの開始

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. 投資予定の総額については未確定であるため、未定としております。

③重要な設備計画の完了

前事業年度末において計画中であったソフトウェア設備の新設計画（投資予定金額70,000千円）につきましては、平成27年11月に完了しております。